

病院ノ經費ニ對シ六分の一乃至二分の一ヲ補助ス
 第四條 第一條ノ規定ニ依リ設置スル精神病院ノ長ハ主務大臣ノ定ムル
 所ニ依リ入院者ニ對シ監護上ノ必要ナル處置ヲ行フコトヲ得
 第五條 地方長官ハ入院者ヨリ入院費ノ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ
 得地方長官ハ入院者ヨリ徵收スルコトヲ得ズト認ムルトキハ其ノ扶養義
 務者ヨリ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項費用ノ徵收方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第六條 道府縣ニ於テ設置スル精神病院ニシテ地方長官ノ具申ニ依リ主
 務大臣ニ於テ適當ト認ムルモノハ第一條ノ規定ニ依リ設置スルモノト
 看做ス

第七條 主務大臣必要ト認ムルトキハ期間ヲ指定シ適當ト認ムル公私立
 精神病院ヲ其ノ承諾ヲ得テ第一條ノ規定ニ依リ設置スル精神病院ニ代
 用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二條乃至第五條ノ規定ヲ準用ス

第八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ執行ニ關シ行政官廳ノ處分
 ニ不服アル者ハ訴訟スルコトヲ得行政官廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷
 害セラレタルトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

附 則
 本法施行ノ期日ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各條ニ付之ヲ定ム

●法律第二十六號
 結核豫防法

第一條 本法ニ於テ結核ト稱スルハ肺結核又ハ喉頭結核ニシテ病毒傳播
 ノ危険アルモノヲ謂フ
 第二條 醫師結核患者ヲ診斷シ又ハ其ノ死體ヲ檢査シタルトキハ患者ノ
 場合ニ在リテハ患者又ハ其ノ居住ノ場所ノ管理ヲ爲ス者若ハ其ノ代理

關係ニ於テ衛生上不良ナル建物ノ使用ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得
 前項ノ規定ニ依リ制限又ハ禁止ニ因リ生ジタル損害ニ對シテハ地方長
 官必要ト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ補償金ヲ交付ス補償金ハ
 北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス
 第六條 主務大臣ハ結核患者ニシテ療養ノ途ナキモノヲ收容セシムル爲
 人口五萬以上ノ市又ハ特ニ必要ト認ムル其ノ他ノ公共團體ニ對シテ結
 核療養所ノ設置ヲ命ズルコトヲ得
 第七條 地方長官ハ結核患者ニシテ療養ノ途ナキモノ及豫防上特ニ必要
 ト認ムルモノヲ前條ノ規定ニ依リ設置スル結核療養所ニ入所セシムル
 コトヲ得
 前項ノ規定ニ依リ入所ノ費用ノ負擔及徵收ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ
 定ム
 第八條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ第六條ノ規定ニ依リ結核療養所ヲ
 設置スル公共團體ニ對シ其ノ結核療養所ニ關シ公共團體ノ支出スル經
 費ノ六分の一乃至二分の一ヲ補助ス
 第九條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ第六條ノ規定ニ依ラズシテ結核療
 養所ヲ設置スル公共團體又ハ公益法人ニ對シ其ノ結核療養所ニ關シ公
 共團體又ハ公益法人ノ支出スル經費ノ二分の一以內ヲ補助スルコトヲ得
 第十條 結核療養所ヲ設置スル公共團體ニシテ第八條又ハ前條ニ依リ補
 助ヲ受ケルモノハ他ノ公共團體ノ委託アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依
 リ療養ノ途ナキ結核患者ヲ其ノ結核療養所ニ收容スベシ
 第十一條 北海道地方費又ハ府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ第四條第一項
 第二號ノ規定ニ依リ從業禁止又ハ第七條第一項ノ規定ニ依リ入所ニ因
 リ生活スルコト能ハザル者ニ對シ其ノ生活費ヲ補助スベシ
 第十二條 國庫ハ第四條第二項、第五條第二項又ハ前條ノ規定ニ依リ支

ヲ爲ス者、死體ノ場合ニ在リテハ死體所在ノ場所ノ管理ヲ爲ス者又ハ
 其ノ代理ヲ爲ス者ニ命令ノ定ムル所ニ依リ消毒其ノ他ノ豫防法ヲ指示
 スベシ
 前項ノ規定ニ依リ指示ヲ受ケタル者ハ其ノ指示ニ從ヒ消毒其ノ他ノ豫
 防方法ヲ行フベシ
 第三條 行政官廳ハ結核患者又ハ其ノ死者アリタル場所ニ付家屋物件ノ
 消毒其ノ他ノ豫防方法ヲ施行シ又ハ其施行ヲ患者又ハ場所ノ管理ヲ爲
 ス者若ハ其ノ代理ヲ爲ス者ニ命ズルコトヲ得
 第四條 行政官廳ハ結核豫防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコト
 ヲ得
 一、業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スル者又ハ病毒蔓延ノ虞アル
 場所ニ居住シ若ハ其ノ場所ニ於テ職業ニ従事スル者ニ對シ健康診斷ヲ
 施行スルコト
 二、結核患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スルヲ禁止ス
 ルコト
 三、學校、病院、製造所其ノ他ノ多衆ノ集合スル場所又ハ旅店、料理
 店、理髮店其ノ他ノ客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ付病毒傳播ノ媒介ト
 ナルベキ事項ヲ制限シ若ハ禁止シ又ハ場所ノ管理ヲ爲ス者若ハ其ノ代
 理ヲ爲ス者ニ對シ結核豫防上必要ナル施設ヲ爲サシムルコト
 四、古着、古蒲團、古本、紙屑、襪、飲食物其ノ他ノ物件ニシテ病毒
 ニ汚染シ又ハ其ノ疑アルモノノ賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其
 ノ物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其ノ物件ノ廢棄ヲ爲スコト
 地方長官ニ於テ前項ノ規定ニ依リ健康診斷ヲ施行シ又ハ物件ノ廢棄ヲ
 爲ス場合ニ於テハ其ノ費用ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス
 第五條 地方長官ハ結核豫防上必要ト認ムルトキハ採光、換氣其ノ他ノ
 出テ爲ス北海道地方費又ハ府縣ニ對シ其ノ支出額ノ四分の一ヲ補助ス
 第十三條 官立廳、公署、官公立ノ學校病院製造所等ニ於テハ其長ハ第四
 條第一項第三號第四號及第五條第一項ノ規定ニ準シ結核豫防ニ關スル
 事項ヲ施行スベシ
 第十四條 第二條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第三條ノ規定ニ依リ行政官
 廳ノ命令ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス
 第十五條 第四條第一項又ハ第五條第一項ノ規定ニ依リ行政官廳ノ命令
 又ハ處分ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 大正三年法律第十六號ハ之ヲ廢止ス
 大正三年法律第十六號ニ依リ設置ヲ命ジタル肺結核療養所ハ本法ニ依リ
 設置ヲ命ジタル結核療養所ト看做ス

●法律第二十七號
 「トラホーム」豫防法

第一條 醫師「トラホーム」患者ヲ診斷シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依
 リ患者又ハ其ノ保護者ニ消毒其ノ他ノ豫防方法ヲ指示スベシ
 當該官吏又ハ吏員ハ必要ト認ムルトキハ「トラホーム」患者又ハ其ノ保
 護者ニ消毒其ノ他ノ豫防方法ヲ指示スベシ
 第二項又ハ前項ノ規定ニ依リ指示ヲ受ケタル者ハ其ノ指示ニ從ヒ消毒
 其ノ他ノ豫防方法ヲ行フベシ
 第二條 「トラホーム」患者ハ速ニ醫師ノ治療ヲ受クベシ
 「トラホーム」患者ノ保護者ハ其ノ患者ヲシテ速ニ醫師ノ治療ヲ受ケシ
 ムベシ